

人材の能力向上こそ企業の成長力になる

富士山に見つめられて育った桃

先日、知り合いが「特別な桃をもらった」と嬉しそうに教えてくれた。ただの桃ではない。「富士山に毎日見つめられ育った桃」と箱書きしてあるのだ。受け取った瞬間に、雄大な富士山、澄んだ空気……が思い浮かび、なんだかいいことがあるようだ。

市場にあふれている桃を、いかにお客様に手にとってもらい、購入していただくか。どうやって、ほかの果物と差別化し、買い手にとって「特別なもの」にするか？

これは印刷業界にとって、関係ない話ではない。

印刷会社が単なる価格競争から抜け出し、付加価値のある情報加工産業として収益構造を改善するにはどうしたらいいのだろうか？

総合的な知識と問題解決能力を身に付けた人材によるコーディネーション機能こそがこれからの印刷とメディア展開を支え、他社を一步も二歩もリードする力となる。

JAGAT ではそういった人材を「プリンティングコーディネータ」と捉え、1996年から、「プリンティングコーディネータ養成講座」を実施している。

これからは、人材が最大の差別化要素となる。

2014年カリキュラムの新たなポイント

今年開催する「第17期プリンティングコーディネータ養成講座」では、ライブ感、体験型、クリエイティブという3つのキーワードをもとにカリキュラムを再編した。

■ライブ感

第一線で活躍するカメラマンとプリンティングディレクターにより、デジカメ撮影、レタッチの実演をして、その場でプリント出力する。

カメラマンはどのような意図を持って撮影し、それをプリンティングディレクターはどのように解釈してレタッチから出力へ持っていくのかを体感できる。

■体験型

二つの工場見学（オプション）を行う。

1. 最新デジタル印刷工場（ポストプレスを含めたワークフローを視察）

2. 箔押し工場

■クリエイティブ

1. 『デザインのひきだし』編集長の津田淳子氏に登壇いただく。
2. (株) 竹尾様より、宣伝会議が発行する月刊ブレンでの人気企画「Book Jacket: Senses」を題材に、素材（紙）、印刷・加工、デザインによる付加価値表現について解説いただく。

以上、新たな講師陣を迎え、時代に合わせたカリキュラムにご期待いただきたい。

詳細な内容およびお申し込みは <http://www.jagat.jp/> をご覧ください。

(CS部 教育開発グループ 小須田 紀子)

●受講者の声

- 現役でまだバリバリに活躍されている講師の方々が、現場視点に基づいた事例をもとに説明をしていただいたので、分かりやすかった。(制作 男性)
- 普段手掛けている分野以外の印刷知識を学ぶことができた。また、自分が曖昧に持っていた知識を、確実な知識にすることができた。(工務 男性)
- 講座の時間だけでなく、インターバル期間、講座終了後も、きめ細かく丁寧に教えていただいた。また、同じような悩みを抱えている仲間と出会い、共に学ぶことで、非常に刺激になった。講師の方、そして仲間との縁を今後も大事にしたい。(営業 男性)

●企業ご担当者の声

- 10年前に自分が受講し、非常にためになった。それ以来、部下2人を派遣した。研修期間が長く難易度が高いため、当初は2人とも参加を渋っていたが、講座を終えたときのモチベーションの高さ、問題意識の高さはかなりの収穫だった。今でも社の中核として頑張っているし、講座で得た知識を新入社員研修の講師として役立てている。
- 製本部門のエキスパートを派遣した。以前はお客様との接点がなかったが、今では営業担当者に同行し、提案を行っている。お客様の望む印刷物を作るのは当然だが、紙や加工などを提案することで、より効果的な印刷物を納品できるようになった。お客様の信頼も厚く、指名も受けている。

「第17期プリンティングコーディネータ養成講座」の内容は本誌36ページをご覧ください